

キャリア形成と主体的学修を基盤とした卒業時の質保証

取組のポイント

I. 社会に通用する学修成果を4年間で育む仕組みづくり

- ◆ 「プレ・ディプロマ・サプリメント」の開発・活用と個別学修支援体制の構築
- ◆ 教育目標の明確化と、初年次教育から卒業研究までの教育プログラムの再整備

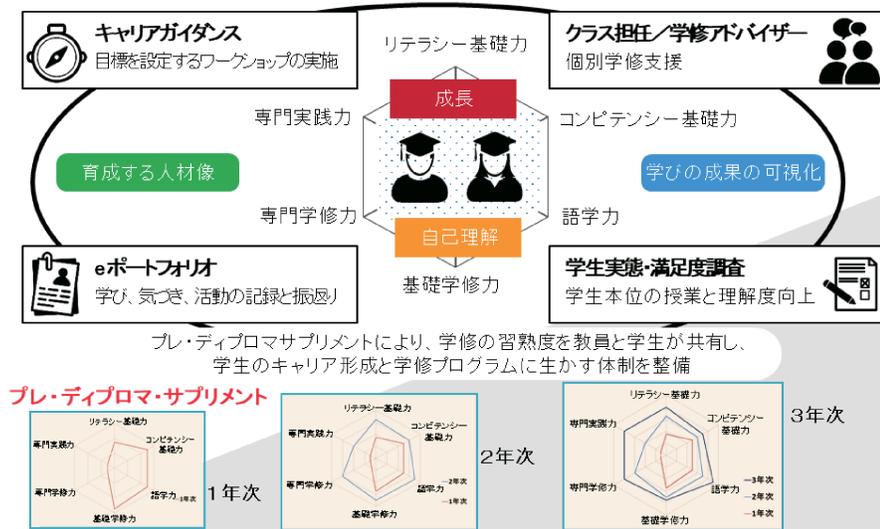
II. 学修成果を客観的に社会に示すための仕組みづくり

- ◆ 卒業段階で獲得した能力を「ディプロマ・サプリメント」で客観的に提示・活用

III. 教育の質を保証できるマネジメントシステムの確立

- ◆ 学修プロセス、教育成果と学修成果の可視化

学生のキャリア形成と、社会で必要とされる能力の獲得

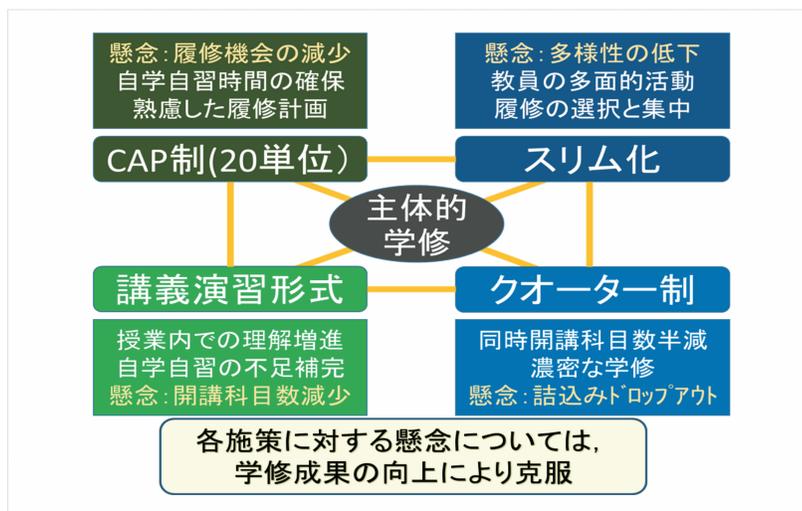


ディプロマ・サプリメント



これまでの実績と成果

- 建学の精神、理念、各種調査分析結果を踏まえた全学共通の教育目標と3ポリシーの策定
- 全学共通の教育施策基本方針策定とその展開



- eポートフォリオ「TCU-FORCE」(TCU-FOR Career Enrollment)と「プレ・ディプロマ・サプリメント」の開発、キャリア支援・学修支援での利用による主体的学修の取組
- 卒業生に対する「ディプロマ・サプリメント」の発行による教育の質保証とステークホルダー(就職先等)への提示【試行】
- 全学での教学マネジメント推進体制の強化

現在の取組と今後のビジョン

初年次教育から卒業までの学修をつなぐ段階的・連続的な能力育成への挑戦

- 全学共通科目「SD PBL」の開講
- 卒業研究用ルーブリックの再整備

1年 (入学前を含む)	2年	3年	4年
導入教育型 SD PBL (1)	問題認識型 SD PBL (2)	社会連携型 問題解決型 SD PBL (3) + 事例研究	PBL(3)で活用する知識科目 事例研・PBLの実技科目 専門以外のリサーチメソッド
PBL(1)で活用する知識科目 PBL(1)で活用する実技科目 汎用的リサーチメソッド	PBL(2)で活用する知識科目 PBL(2)で活用する実技科目 専門のリサーチメソッド		卒研

3年次までの科目と卒業研究との接続性整備によるシナジー効果発揮

- ◇ 各学年に配置されたPBL科目や事例研究による実践力ステップアップ (a→b)
- ◇ 見える化した本学伝統の卒業研究の実施ノウハウを下位学年の科目にも導入最終到達点のさらなる向上を図る (c→e)

